

**DOMOTEX HANNOVER** January 16-19 2016 ● 2016年 DOMOTEX ..... design の表現傾向

2016.2.23 Report Fumio Konno 3/9

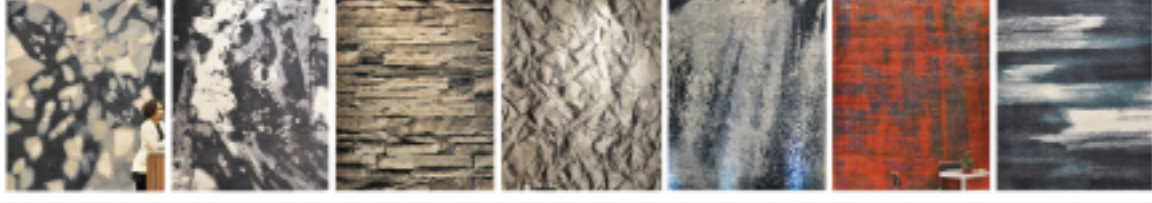


デジタルプリント使いの大連打パターン  
ロングデザインのリフトアップカーペットの組み合わせ  
最新テクノロジーと組み合わせるデザインした定形カーペットの拡大  
定形カーペットと異様に木目素材による組み合わせを推し進めるデザインが拡大

**「design」**  
2016年のラグ・カーペットにおいて、インクジェットデザインは減少し本来の持ち味のデザインに戻っているのが特徴として挙げられる。昨年の継続になるが、最新テクノロジーに相反するハンドメイド感覚のフォーフロアデザインをモダンに拡張したものと、今回目立つ傾向として中間色・モノトーン使いの風景や石のパターン、木の肌など自然の風景をイメージさせるデザインが多く見られた。クラシックアートをモダンにシフトし拡張しアート性を加えたデザインは継続。



デザイン傾向として、上質下の石目や木目、木の肌など自然の風景をイメージさせるパターンへ、フォーフロアデザインをモダンに拡張した心も通るデザインが拡大



花・樹木をテーマにしたインクジェットが継続  
今回の特徴としてモノトーン表現の風景や大理石、木の肌など自然の風景をイメージさせる手織ラグが多く見られた

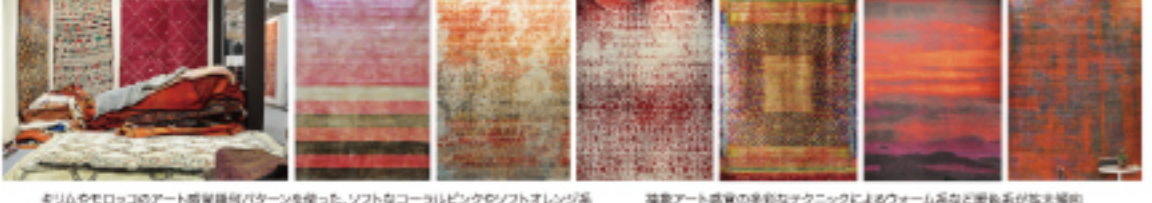
**DOMOTEX HANNOVER** January 16-19 2016 ● 2016年 DOMOTEX ..... color の表現傾向

2016.2.23 Report Fumio Konno 4/9



カラー傾向として、黒、グレー、ブルーなどニュートラルカラーや中間グレーを中心に継続  
ベージュ、ブラウン系もあるが圧倒的にモノトーン+ダークブルー/ダークグレー、レッド

モダンクラシックパターンが減少傾向にあり、自然物や風景やフォーフロア傾向などの抽象的なパターンは集合により、Y/DRにビビットなPPR素材がプラスされたウォームカラーが拡大



キリムやモロッコのアート感覚傾向パターンを使った、ソフトなニュートラルピンクやソフトオレンジ系  
建築アート感覚の手織テクニクによるウォーム系など暖色系が拡大傾向

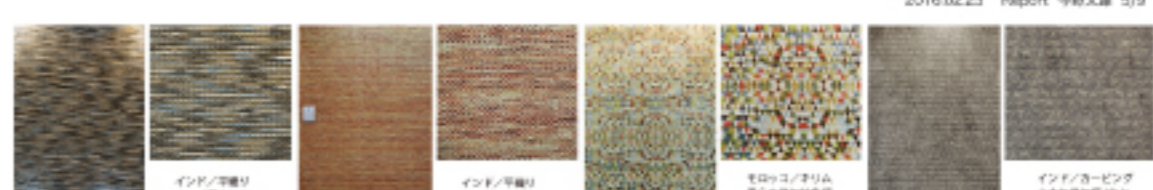
ターコイズ系カラーは減少、スモーキーブルー・ブルーグレーやダークコバルト・ダークセージ系など各テストに拡大傾向



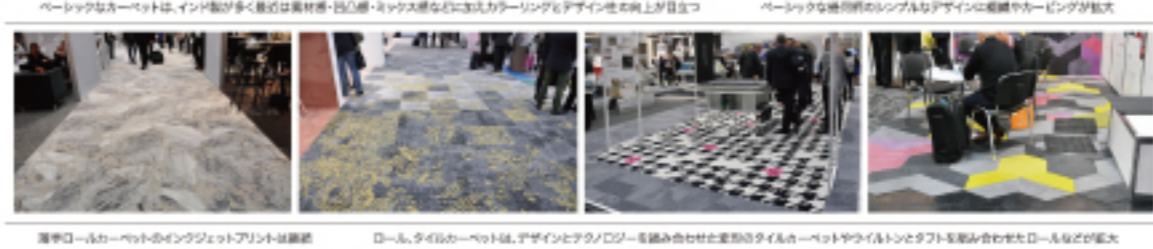
**「color」**  
黒・白・ベージュ・グレー+ニュートラルカラーの中間グレーのカラーリングの割合は各テストに拡大し継続傾向。暖色系は、ターコイズ系に替わってスモーキーブルー・ダークブルー・ダークコバルトが生感。ダークモノトーンともマッチング。フォーフロアや抽象アート系はY/DRにビビット系が加わったウォーム系も拡大。

**DOMOTEX HANNOVER** January 16-19 2016 ● 2016年 DOMOTEX ..... structure・quality の表現傾向

2016.02.23 Report 今野文雄 5/9



ベリックなカーペットは、インク製が多く最近では素材・質感・肌触りなどに加えカラーリングもデザイン性の向上が目立つ  
ベリックな素材のシボやデザインに質感やカービングが拡大



豪華ロールカーペットのインクジェットプリントは継続  
ロール、タイロンカーペットは、デザインとテクノロジーを組み合わせる定形カーペットやタイロンとタフトを組み合わせるロールなどが拡大



花・樹木をテーマにしたインクジェットが継続  
今回の特徴としてモノトーン表現の風景や大理石、木の肌など自然の風景をイメージさせる手織ラグが多く見られた

**「quality」**  
ウォリティーに関しては、ハンドメイド感覚のサンプルでもタンな素材、手織り感覚で通かみのあるフォーフロア節の素材感、繊細なボックス感やハンドメイド感覚のテクニクを使い自然の風景をイメージするハンドメイドラグの登場。ハンドメイド感覚の「イカット・キリム・モロッコ」調は、よりモダンになり、ウォリティー感やデザイン性が目立って拡大。ワイルトンなどのマシンメイドに需要も与えている。

**DOMOTEX HANNOVER** January 16-19 2016 ● 2016年 DOMOTEX ..... 2016年 / DOMOTEX・フロアカーペットの各ホールにおける Pattern・Color・Quality 表現傾向

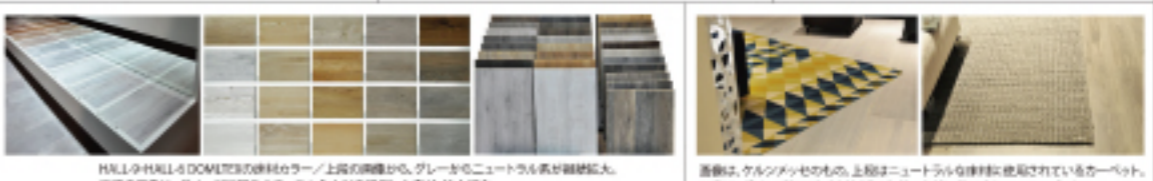
2016.2.23 Report Fumio Konno 6/9

Design	Color	Quality

**Design**  
デザイン傾向は、全てのテストにアート感覚が継続されモダンになっている。これは去年と同様、ラグ・カーペットにおいて、インクジェットデザインは減少し本来の持ち味のデザインであるモダンな手織り傾向に戻っている。昨年の継続で、最新テクノロジーとハンドメイドの二極化が進む中、自然の風景やイメージするデザインの表現が継続。

**Color**  
最近の傾向は、カラー加工をしたラグイメージが顕著などにより、ラグ・カーペットの制作に大きな影響を与えている。それを踏まえ素材にあった黒・ベージュ・グレー+ニュートラルカラーと中間グレーのカラーリングの割合は、各テストに拡大し継続傾向。暖色系は、ダークコバルトが中心。暖色系は、フォーフロアカラーが中心。

**Quality**  
ウォリティーに関しては、ハンドメイド感覚のサンプルでもタンなナチュラル素材、手織り感覚で通かみのあるフォーフロア節の素材感、タメージ処理をしたピンチング感覚の登場などが目立っている。素材とカーペット（下の層）はケルメッセ国際家具展本場のもの。昨年同様素材カラー異物感がカーペットに大きな影響を与えている。



HALL4+HALL5 DOMOTEXの材料カラーノ上質の傾向から、グレー+ニュートラル系が継続拡大。下層の層数は、タメージ処理やナチュラルな素材を活用した素材、拡大傾向。



素材は、ケルメッセのもの。上層はニュートラルな素材に使用されているカーペット。下層は、タメージ処理やナチュラルな素材に使用されているカーペット。